

前に踏み出す力

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力

Q1 主体性:自分の意志や判断において自ら進んで行動する

- 1 自分から進んで行動するより、細かなことでも人から指示されるのを待って行動することが多い
- 2 任されたことは、最後まで自分の責任で行うより、その都度人から判断してもらいながら進めることが多い
- 3 任されたことは、細かな指示を仰がなくても、自分の責任で判断しながら進めることができる
- 4
- 5 自分への期待を意識して、すべきことを自分で考え行動に移すことができる
- 6
- 7
- 8
- 9 求められたり期待されたりすること以上のことを、自発的に行うことができる

Q2 働きかけ力:互いに力を貸して助け合う

- 1 周囲の人が困っていても、その状況に気付かないことが多い
- 2
- 3 他の人が困っているようでも、本人から求められなければ手を貸さないほうだ
- 4
- 5 自分の役割だけでなく周囲の状況に気を配り、困っている人の手助けをするほうだ
- 6
- 7 周囲の状況に自分が気を配るだけでなく、それぞれの不足している点を補い合うような雰囲気を作り出すよう心がけている
- 8
- 9 皆が互いに助け合い、力を補完しあうようなしくみや環境をつくりだすことができる

Q3 実行力:一度決めたこと、やり始めたことはやり切る/粘り強く取り組み、やり遂げる

- 1 一度始めても、すぐに面倒になってやめてしまったり、我慢が続かないほうだ
- 2
- 3 一度始めても、障害や困難を感じると、投げ出してしまいがちだ
- 4
- 5 一度始めたことは最後まであきらめず頑張りほうだ
- 6
- 7 一度始めたことは必ず最後までやり切る
- 8
- 9 障害があっても、一度取り掛かったことは自分が納得できるまで粘り強くやり遂げる

考え抜く力

疑問を持ち、考え抜く力

Q4 課題発見力:事実に基づいて客観的に情報をとらえ、本質的な問題を見極める

- 1 情報を整理したり分析したりするようなことは苦手だ
- 2
- 3 自分なりに情報を集めて整理をするが、視野が狭いとか、分析が浅いと言われることが多い
- 4
- 5 思い込みや憶測をできるだけ入れずに情報を客観的に整理することができる
- 6
- 7 思い込みや憶測をできるだけ入れずに情報を整理し、原因と結果の因果関係を分析することができる
- 8
- 9 事実が複雑に絡み合っている問題でも、情報を客観的に分類・分析し、因果関係をわかりやすく整理することができる

Q5 計画力:目標の実現に向けた効果的な行動計画、シナリオを描く

- 1 課題に取り組むとき、事前に計画をたてることは少ないために、締め切りに遅れたり、周囲に迷惑をかけることが多い
- 2
- 3 計画を自分なりにたてるが、分量と締め切りの見積もりが甘かったり、優先順位が上手くつけられないことが多い
- 4
- 5 経験のあることや具体的にイメージできることについては、実現の可能性の高い計画・手順を自分なりにたてることができる
- 6
- 7 経験のあることについては、周囲との関係も考慮して、実現の可能性の高い計画・手順をたてることができる
- 8
- 9 初めてのことや抽象度が高いことでも、いつまでに何をやるのかの具体的な行動計画をたてることができる

Q6 創造力:既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える

- 1 既存の考えや、置かれている状況にとらわれて、新しい発想をすることが少ない
- 2
- 3 物事を考えるときには、出来るだけ制約条件や過去の習慣にとらわれないよう心がけることができる
- 4
- 5 一見関連の無いような概念同士を結びつけて新しい発想をしたり、良い事例の趣旨を理解し、他の分野に応用することができる
- 6
- 7 話し合いやブレインストーミングでは、独創的で付加価値の高い発言が多いとよく言われる。またはその自覚がある
- 8
- 9 アイデアに行き詰まった状況でも、様々な角度から柔軟に発想し、その場の議論を活性化することができる

チームで働く力

多様な人々とともに、目標に向けて協力する力

Q7 発信力:集団の中で自分の意見を主張する

- 1 話し合いの場では発言しないほうだ
- 2
- 3 自信のあることについては、自分の意見を述べる事ができる
- 4
- 5 大抵の場合には、自分の意見をはっきりと主張できるほうだ
- 6
- 7 意見が対立したり立場が上の人に対しても、自分の意見をはっきりと述べる事ができる
- 8
- 9 意見が対立したり立場が上の人から理解を得られない場合であっても、妥協せず、自分の意見を粘り強く主張することができる

Q8 傾聴力:議論の活発化や発展のために自ら集団に働きかける

- 1 議論の場では、他者の発言に対して賛否を返さないなど、周囲に関心を示すことは少ない
- 2
- 3 他者の発言に賛否を返すなどして、議論には参加する
- 4
- 5 その場の議論が活発になるように、自ら進んで意見を発表していく
- 6
- 7 全員に発言を促し、整理したり方向づけたりしながら、議論を進展させていくことができる
- 8
- 9 意見が対立した場合でも、互いの意見を活かしながら、さらに創造的な結論に導くことができる

Q9 柔軟性:多様な価値観を受け入れる

- 1 自分と異なる意見や価値観をもつ人とは付き合わないほうだ
- 2
- 3 自分と異なる意見や価値観に出会った場合、戸惑いながらも理解しようとする
- 4
- 5 自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる
- 6
- 7 自分と異なる意見や価値観を柔軟に受け入れ、自分の考え方の幅を広げるよう心がけている
- 8
- 9 自分と異なる意見や価値観を柔軟に受け入れ、自分の考え方の幅を広げながら積極的に人間関係を広げていくことができる

Q10 状況把握力:自分や周囲の役割を理解する/互いに連携・協力して物事を行う

- 1 集団の中で割り当てられたことは、人から非難されない程度にやる
- 2
- 3 集団の中で、周囲に迷惑をかけないよう、自分の担当の仕事をきちんと遂行することができる
- 4
- 5 自分に割り当てられたことは、最良の結果が得るように、自分なりに工夫して課題に取り組んでいる
- 6
- 7 自分に割り当てられたことが周囲にどんな影響を及ぼすかを考え、最良の結果が得るように課題に取り組んでいる
- 8
- 9 成果を上げるために、自分に割り当てられたことにとどまらず、集団の中で果たすべき役割を自ら考え、周囲と協力して課題に取り組むことができる

Q11 規律性:公序良俗・社会ルールに則って自らの発言や行動を律することができる

- 1 自分の都合を優先して、集団のルールを無視することが多い
- 2
- 3 学校・社会(集団)の決まりごとには意識をして行動するほうだ
- 4
- 5 周囲の行動に惑わされることなく、学校や社会(集団)の決まりごとを尊重して、自らの判断で行動することができる
- 6
- 7 おかしいと思うことや間違っていると感じる場合には、他人の目を気にすることなく、すすんで規範となるような行動を取ることができる
- 8
- 9 おかしいと思うことや間違っていると感じることに対して、自分の行動を律するだけでなく、周囲に働きかけて全体の行動修正をすることができる

Q12 ストレスコントロール力:欲求や恐怖などの悪い影響を及ぼすストレスを処理する

- 1 ちょっとしたことでも、動揺したり落ち込んだりして、なかなか立ち直れない
- 2
- 3 ちょっとしたことですぐ動揺したり落ち込んだりするが、あまり長くは引きずらずに、次に進むことができる
- 4
- 5 失敗した時や強いプレッシャーで動揺したり落ち込んだりすることはあるが、長くは引きずらずに、次に進むことができる
- 6
- 7 ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、あまり動揺しないで上手く対処できる
- 8
- 9 ストレスやプレッシャーがかかるような状況では、自らその原因に働きかけて、ストレスやプレッシャーそのものの速やかな解消に努める